

## 参考文献目録

本書の絵引作成および解説文章の執筆に際して参考とした史料・文献を、史料名および文献著者名の五十音順に配列した。同一著者の文献は、発行年次順とした。著者・編者と発行所が同じ場合は、発行所の記載を省略した。

## 1. 史料

- 『鹿児島ぶり』（伊東陵舎 [凌舎]）[竹内・原田・平山 1969]  
 『(加世田) 再撰帳』（南さつま市加世田郷土資料館蔵）  
 『(加世田) 再撰史』（南さつま市加世田郷土資料館蔵）  
 『加世田名勝志』（南さつま市加世田郷土資料館蔵）  
 『旧薩藩御城下絵図』（鹿児島県立図書館蔵）[塩満・友野 2004]  
 『金山萬留 乾』[日本鉱業史料集刊行委員会 1986]  
 『西遊記』（橘南谿）[橘南谿 1974、高木ほか 1991]  
 『薩藩勝景百図』・『薩藩勝景百図考』（東京大学史料編纂所蔵）  
 『薩藩名勝志』（鹿児島大学附属図書館玉里文庫蔵）  
 『薩摩風土記』[原田 1975]  
 『薩陽往返記事』・『薩隅日三州経歴之記事』（高木善助）[宮本・谷川・原口 1969]  
 『三国名勝図会』[五代・橋口 1905]  
 『島津国史』（山本正誼）[島津家編輯所 1905]  
 『(天保年間) 鹿児島城下絵図』（鹿児島市立美術館蔵）[五味 1980]

## 2. 文献

- 相徳隆 1986 「第14編 文化財・人物／第1章 指定文化財」加世田市史編さん委員会編『加世田市史』下、加世田市  
 [阿久根市] 郷土史編さん委員会編 1985 『阿久根の地名』阿久根市立図書館  
 [阿久根市] 郷土史編纂委員会 2006 『阿久根の自然』阿久根市立図書館  
 阿久根市誌編さん委員会編 1974 『阿久根市誌』阿久根市  
 荒野泰典 1987 「日本型華夷秩序の形成」朝尾直弘・網野善彦・山口啓二・吉田孝編『日本の社会史』  
 1 (列島内外の交通と国家) 岩波書店  
 安藤保 1996 「『琉球館』小考」丸山雍成編『前近代における南西諸島と九州——その関係史的研究』  
 多賀出版  
 井上和枝 2014 「朝鮮人村落「苗代川」の日本化と解体」久留島浩・須田努・趙景達編『薩摩・朝鮮  
 陶工村の四百年』岩波書店  
 伊波普猷 1961 (1926 初刊) 「浄土真宗沖縄開教前史」『伊波普猷選集』上、沖縄タイムス社  
 上原兼善 1981 『鎖国と藩貿易』八重岳書房  
 上原兼善 2001 『幕藩制形成期の琉球支配』吉川弘文館  
 上原兼善 2016 『近世琉球貿易史の研究』岩田書院  
 上東三郎 1964 「第6編 交通・通信誌」加世田郷土誌委員会編『加世田市誌』上、鹿児島県加世田  
 市役所  
 上東三郎 1986a 「第4編 近世」加世田市史編さん委員会編『加世田市史』上、加世田市  
 上東三郎 1986b 「第9編 交通・通信」加世田市史編さん委員会編『加世田市史』上、加世田市  
 宇宿捷 1936 「媽祖の信仰と薩南片浦林家の媽祖について」『史学』15-3  
 荻真一郎 2012 『近世鉱山をささえた人びと』（日本史リブレット）山川出版社

- 荻原進・千々和実編 1954 『高山彦九郎全集』4、高山彦九郎遺稿刊行会
- 小野賢一郎編 1932 『図解 薩摩焼』陶器全集17、陶器全集刊行會
- 小野武夫編 1932 「古老集記類の二」『近世地方経済史料』10、近世地方経済史料刊行会
- 小野まさ子・豊見山和行・里井洋一・真栄平房昭 1987 「『内務省文書』とその紹介」『沖縄史料編集室紀要』12
- 小野まさ子・漢那敬子・田口恵・富田千夏 2006 「史料紹介 岸秋正文庫「薩遊紀行」」『史料編集室紀要』31
- 鹿児島県 1940 『鹿児島県史』2
- 鹿児島県維新史料編さん所編 1977 『鹿児島県史料』（旧記雑録追録7）鹿児島県
- 鹿児島県・鹿児島県歴史資料センター黎明館編 2005 『はるかなり 江戸・鹿児島の旅』（平成17年度 黎明館企画特別展）鹿児島県歴史資料センター黎明館
- 鹿児島県教育委員会編 1993 『出水筋』（歴史の道調査報告書1）徳田屋書店
- 鹿児島県歴史資料センター黎明館編 1985 『旧記雑録』後編5、鹿児島県
- 鹿児島県立川内中学校編 1936 『川内地方を中心とする郷土史と伝説 西薩摩の民謡』歴史図書社
- 鹿児島大学附属図書館編 1997 『鹿児島大学附属図書館蔵 玉里文庫等善本図録』（鹿児島大学中央図書館落成記念）鹿児島大学附属図書館
- 鹿児島大学附属図書館編 2000 『江戸のまなざし 薩摩の名所図会展図録』（平成12年度鹿児島大学図書館貴重書公開）鹿児島大学附属図書館
- 鹿児島大学附属図書館編 2013 『島津氏と近衛家の七百年』（平成25年度鹿児島大学附属図書館貴重書公開）鹿児島大学附属図書館
- 鹿児島大学附属図書館編 2016 『玉里文庫善本展——国文学・薩摩・蘭学・近衛家・琉球』（平成28年度鹿児島大学附属図書館貴重書公開）鹿児島大学附属図書館
- 笠沙町郷土誌編さん委員会編 1991 『笠沙町郷土誌』上、笠沙町
- 加世田郷土誌委員会編 1964 「凡例」加世田郷土誌委員会編『加世田市誌』上、鹿児島県加世田市役所
- 河添房江 2014 『唐物の文化史——舶来品からみた日本』岩波書店
- 神田三郎 1964 「第10編 名勝旧跡誌」加世田郷土誌委員会編『加世田市誌』下、鹿児島県加世田市役所
- 芳即正 1980 『島津重豪』吉川弘文館
- 霧島町郷土誌編集委員会編 1992 『霧島町郷土誌』霧島町
- 球陽研究会編 1974 『球陽』（原文編・読み下し編）角川書店
- 金英淑（中村克哉訳）2008 『韓国服飾文化事典』東方出版
- 倉地克直 2001 『近世日本人は朝鮮をどうみていたか——「鎖国」のなかの「異人」たち』角川選書
- 久留島浩・須田努・趙景達編 2014 『薩摩・朝鮮陶工村の四百年』岩波書店
- 久留島浩 2014 「近世の苗代川」久留島浩・須田努・趙景達編『薩摩・朝鮮陶工村の四百年』岩波書店
- 窪田巧 2012 『万世歴史散策』『万世歴史散策』編集委員会
- 工学院大学後藤研究室・鹿児島大学木方研究室・(株)アルセッド建築研究所編集協力 2014 『加世田のまちなみ調査報告書』鹿児島県南さつま市
- 国立国語院（韓国）編 三橋広夫・趙完済訳 2006 『カラー日本語版 韓国伝統文化事典』教育出版
- 五代秀克・橋口兼柄編纂 1905 『三国名勝図会』山本盛秀
- 小葉田淳 1956 『鉾山の歴史』（日本歴史新書）至文堂
- 小葉田淳 1968 『日本鉾山史の研究』岩波書店
- 五味克夫注解 1980 『鹿児島市立美術館蔵 鹿児島城下絵図』大江出版社
- 坂元春男 1992 「第1編 産業／第1章 農業／第4節 土地基盤整備／二 大浦潟干拓」笠沙町郷土誌編さん委員会編『笠沙町郷土誌』下、笠沙町

- 薩摩川内郷土史研究会機関誌 2010 『千台』(川内郷土史研究会機関誌) 38
- 鮫島陸次郎 1986 「第12編 宗教」加世田市史編さん委員会編『加世田市史』下、加世田市
- 鮫島佐太郎 1987 『苗代川のくらし』南日本新聞開発センター
- 塩満郁夫・友野春久編 2004 『鹿児島城下絵図散歩』高城書房
- 重久淳一 2010 「中世大隅正八幡宮をとりまく空間構造——社家館跡の調査から」『地域政策科学研究』7
- 渋沢敬三編著 1965-1968 『絵巻物による日本常民生活絵引』角川書店
- 島尻勝太郎 1983 「琉球館」沖縄大百科事典刊行事務局編『沖縄大百科事典』下、沖縄タイムス社
- 白井哲哉 2004 『日本近世地誌編纂史研究』思文閣出版
- 鈴木文 2014 「近世の苗代川と玉山宮をめぐる言説について」久留島浩・須田努・趙景達編『薩摩・朝鮮陶工村の四百年』岩波書店
- 諏訪千秋代・上東三郎・橋口純美 1964 「第2編 沿革誌」加世田郷土誌委員会編『加世田市誌』上、鹿児島県加世田市役所
- 内匠進 1995a 「第6章 大浦町の近世関係資料／第3節 近世農民のくらし／六 農民の負担」大浦町郷土誌編纂委員編『大浦町郷土誌』大浦町
- 内匠進 1995b 「第6章 大浦町の近世関係資料／第5節 近世資料雑／六 小浜の製塩資料」大浦町郷土誌編纂委員編『大浦町郷土誌』大浦町
- 高木市之助・西尾実・久松潜一・麻生磯次・時枝誠記監修 1991 『東路記・己巳紀行・西遊記』(新日本古典文学大系 98) 岩波書店
- 竹内利美・原田伴彦・平山敏治郎編 1969 『日本庶民生活史料集成』9 (風俗)
- 高津孝 2010 『博物学と書物の東アジア——薩摩・琉球と海域交流』榕樹書林
- 田沢金吾・小山富士夫 1941 『薩摩焼の研究』東洋陶磁研究所
- 橋南谿(宗政五十緒校注) 1974 『東西遊記』2、平凡社
- 田中勉 1999 「南九州の牧」下野敏見編『民俗伝承と生活伝承——南日本フォークロア論集』岩田書院
- 谷川健一編 1971 『日本庶民生活史料集成』12 (世相) 三一書房
- 知名定寛 2014 「仲尾次政隆の祖先・薩摩久志の中村氏について」『神女大史学』31
- 沈壽官 1975 『カラー日本のやきもの2 薩摩』淡交社
- 土持鋤夫 1939 『加世田の歴史 神代より藩政時代に至る』南薩郷土出版協会
- 鶴添泰蔵 1982 「南九州の媽祖聞書」『隼人文化』11
- 東條広光 2012 『絵画史料を読む——三国名勝図会・鷹口海湾』\*私家版
- 東條広光編 2016 『大坂商人旅日記 薩陽紀行——文政・天保期の南九州への旅』鹿児島学術文化出版
- 徳留鑑一・高津孝 2000 「諸郷再撰帳一覧(郷名及び順序は『三国名勝図会』による)」鹿児島大学附属図書館編『江戸のまなざし 薩摩の名所図会展図録』(平成12年度鹿児島大学図書館貴重書公開)鹿児島大学附属図書館
- 徳永和喜 2005 『薩摩藩対外交渉史の研究』九州大学出版会
- トビ、ロナルド 2008 『「鎖国」という外交』(日本の歴史9) 小学館
- 富澤達三 2017 『「絵引研究」のあゆみと課題』『松戸市立博物館紀要』24
- 豊見山和行 2003 「琉球・沖縄史の世界」同編『琉球・沖縄史の世界』(日本の時代史18) 吉川弘文館
- 豊見山和行 2004 『琉球王国の外交と王権』吉川弘文館
- 豊見山和行 2012 「船と琉球史——近世の琉球船をめぐる諸相」『船の文化からみた東アジア諸国の位相——近世期の琉球を中心とした地域間比較を通じて——』(周縁の文化交渉学シリーズ5) 関西大学文化交渉学教育研究拠点(ICIS)
- 内藤篤輔 1976 『文禄・慶長役における被虜人の研究』東京大学出版会
- 永田英彦 1995 「第8章 大浦の壟田関係資料(干拓史)」大浦町郷土誌編纂委員編『大浦町郷土誌』

## 大浦町

- 永田雄次郎・山西健夫 1998 『薩摩の絵師たち』（かごしま文庫 43）春苑堂出版
- [那覇市] 総務部市史編集室編 1970 『那覇市史』資料篇 1-2（薩琉関係文書）、那覇市役所
- 新田栄治 2013 「山ヶ野金山初代山先役・内山与右衛門とその墓碑」『鹿大史学』60
- 日本鉱業史料集刊行委員会編 1986 「金山萬留」『日本鉱業史料集』8 近世編、白亜書房
- 日本随筆大成編集部編 1995 『日本随筆大成』3（第3期）吉川弘文館
- 日本放送出版協会編 2001 『わがまち川内—SENDAI—』川内市
- 野間吉夫 1974 『苗代川』東峰書房
- 野村新左衛門・松下兼利編 1941 『西南方村郷土史』西南方村教育会
- 橋口純美 1964 「第9編 宗教誌」加世田郷土誌委員会編『加世田市誌』下、鹿児島県加世田市役所
- 橋口亘 1998 「鹿児島県坊津町泊海岸採集の陶磁器」『貿易陶磁研究』18
- 橋口亘 2001 「南西諸島にもたらされた近世薩摩焼—近世薩摩焼流通の南と北—」『鹿児島陶磁器研究会 からから』10
- 橋口亘 2004 「中世港湾坊津小考」『中世西日本の流通と交通—行き交うヒトとモノ』高志書院
- 橋口亘 2006 「大坂商人を魅了した江戸時代の坊津—『薩隅日三州経歴之記事』にみる坊津の旅』『坊津八景—国指定名勝「坊津」の海岸美—』（輝津館企画展図録）南さつま市坊津歴史資料センター輝津館
- 橋口亘 2009 「近世薩摩における中国陶磁の流入—清朝磁器を中心に—」東アジア地域間交流研究会編『から船往来—日本を育てたひと・ふね・まち・こころ』中国書店
- 橋口亘 2017 「鹿児島県南さつま市加世田郷土資料館蔵『再撰帳』掲載絵図に描かれた近世薩摩国河邊郡加世田郷」『南日本文化財研究』27
- 橋村健一 1994 『桜島大噴火』（かごしま文庫 13）春苑堂出版
- 橋村健一 1991 「桜島安永大噴火による福山野牧の変貌」『シラス地域研究』8
- 原口虎雄 1960 「第2編 吾平の歴史／第5章 近世の吾平／第4節 野町について」（「薩藩町方の研究（第1部）—商業の組織と流通関係の実態について—」鹿児島県肝属郡吾平町誌編纂委員会編『吾平町誌』上、吾平町
- 原田伴彦編 1975 『日本都市生活史料集成』3（城下町篇 I）文彩社
- 藩法研究会編 1969 『藩法集』8（鹿児島藩・上）創文社
- 東藤郎 1986 「第6編 産業経済／第1章 農地農政」加世田市史編さん委員会編『加世田市史』上、加世田市
- 東市来町誌編さん委員会編 2005 『東市来町誌』東市来町
- 深港恭子 2000 「薩摩焼をめぐる苗代川関係文書について」『黎明館調査研究報告』13、鹿児島県歴史資料センター黎明館
- 深港恭子 2014 「窯業産地としての苗代川の形成と展開—薩摩焼生産の展開」久留島浩・須田努・趙景達編『薩摩・朝鮮陶工村の四百年』岩波書店
- 深瀬公一郎 1998 「鹿児島琉球館に関する基礎的考察」『沖縄関係学論集』4
- 深瀬公一郎 2002 「近世日琉通交関係における鹿児島琉球館」『早稲田大学大学院文学研究科紀要（第4分冊）』48
- 深瀬公一郎 2004 「近世日琉関係における外交・貿易システム—鹿児島琉球館における聞役・用聞の役割」『南島史学』64
- 福田アジオ 2007 「生活絵引編纂の世界的意義」『神奈川大学 21世紀 COE プログラム シンポジウム 報告 4／第2回国際シンポジウム 図像・民具・景観 非文字資料から人類文化を読み解く』神奈川大学 21世紀 COE プログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議

- 福永裕暁 2016 「いにしへを訪ねてNo.25 吹上浜砂丘」『市報 南さつま』132 (11月号) 南さつま市役所
- 藤川玲満 2014 『秋里籬島と近世中後期の上方出版界』勉誠出版
- 藤田明良 2004 「日本列島所在の古媽祖像データベース——九州・沖縄編」『8-17世紀の東アジア地域における人・物・情報の交流——海域と港市の形成、民族・地域間相互認識を中心に (上)』東京大学大学院人文社会系研究科
- 藤田明良 2010 「日本近世における古媽祖像と船玉神の信仰」『媽祖に関する調査報告書』長崎県文化・スポーツ振興部
- 平凡社地方資料センター編 1998 『鹿児島県の地名』(日本歴史地名大系 47) 平凡社
- 坊津町郷土誌編纂委員会編 1969 『坊津町郷土誌』上、坊津町
- 坊津町郷土誌編纂委員会編 1972 『坊津町郷土誌』下、坊津町
- 前田幾千代 1934 『薩摩焼総鑑』陶器全集 28、陶器全集刊行会
- 前床重治 1991a 「第2編 通史／第4章 近世／第1節 加世田郷の支配体制」笠沙町郷土誌編さん委員会編『笠沙町郷土誌』上、笠沙町
- 前床重治 1991b 「第2編 通史／第4章 近世／第2節 海外交渉の窓—薩摩の浦々—」笠沙町郷土誌編さん委員会編『笠沙町郷土誌』上、笠沙町
- 前床重治 1991c 「第2編 通史／第4章 近世／第4節 浦のしくみと浦人」笠沙町郷土誌編さん委員会編『笠沙町郷土誌』上、笠沙町
- 前原政二 1964 「第7編 土木誌」加世田郷土誌委員会編『加世田市誌』上、鹿児島県加世田市役所
- 真栄平房昭 2009 「海を越えた扁額—『薩遊紀行』にみる琉球・中国の扁額—」『海が繋いだ薩摩—琉球』(輝津館企画展図録) 南さつま市坊津歴史資料センター輝津館
- 松井洋子 2010 「ジェンダーから見る近世日本の対外関係」荒野泰典・石井正敏・村井章介編『近世的世界の成熟』(日本の対外関係6) 吉川弘文館
- 松尾千歳 2005 「鹿児島県立図書館蔵『鹿児島城下町割図』について」『南九州城郭研究』3
- 松尾千歳 2008 「篤姫がみた鹿児島——鹿児島城下絵図屏風」の世界」『新薩摩学シリーズ6 天璋院篤姫』鹿児島純心女子大学国際文化研究センター
- 松山賢太郎 1986 「第14編 文化財・人物／第2章 一般文化財」加世田市史編さん委員会編『加世田市史』下、加世田市
- 満留重雄 1964 「第11編 人情風俗誌」加世田郷土誌委員会編『加世田市誌』下、鹿児島県加世田市役所
- 三木靖・向山勝貞編 2003 『薩摩と出水街道』(街道の日本史54) 吉川弘文館
- [南さつま市] 総務企画部企画政策課編 2017 「いにしへだよりNo1」『市報 南さつま』140 (7月号) 南さつま市役所
- 三原純孝 2012 「翻刻 伊東陵舎「恵の旅笠」」『国語国文薩摩路』56
- 宮下満郎 1991a 「第2編 通史／第4章 近世／第9節 近世末期の神社と寺院」笠沙町郷土誌編さん委員会編『笠沙町郷土誌』上、笠沙町
- 宮下満郎 1991b 「第2編 通史／第4章 近世／第10節 娘媽神と野間権現」笠沙町郷土誌編さん委員会編『笠沙町郷土誌』上、笠沙町
- 宮下満郎 1991c 「第2編 通史／第4章 近世／第11節 江戸時代の名所・旧跡」笠沙町郷土誌編さん委員会編『笠沙町郷土誌』上、笠沙町
- 宮下満郎 1999 「解題」『譯司冥加録・漂流民関係史料』鹿児島県史料集 38、鹿児島県立図書館
- 宮本常一・谷川健一・原口虎雄編 1969 『日本庶民生活史料集成』2 (探検・紀行・地誌 西国篇) 三一書房
- 李獻璋 1979 『媽祖信仰の研究』泰山文物社

- 山本正誼 1905 『島津国史』島津家編輯所
- 横山學 1987 「琉球認識の展開と琉球国使節」同『琉球国使節渡来の研究』吉川弘文館
- 吉田武三編 1975 『松浦武四郎紀行集』中、富山房
- 吉田陞 1997 『山ヶ野金山物語』高城書房
- 四元幸夫 1979 『東市来町郷土誌』四元幸夫
- 四元幸夫 1988 『東市来町郷土誌』東市来町教育委員会
- 渡辺美季 2009 「境界を越える人々——草の根の薩琉交流」『海が繋いだ薩摩—琉球』（輝津館企画展  
図録）南さつま市坊津歴史資料センター輝津館
- 渡辺美季 2011 「境界を越える人々——近世琉薩交流の一側面」井上徹編『国際交流と政治権力の対  
応』汲古書院
- 渡辺美季 2014 「「琉球交易港図屏風」考」『日本近世生活絵引』奄美・沖縄編纂共同研究班編『日  
本近世生活絵引 奄美・沖縄編』神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター
- 渡辺美季 2015 「島津重豪と久米村人——琉球の「中国」」鈴木彰・林匡編『島津重豪と薩摩の学問・  
文化——近世後期博物大名の視野と実践』（アジア遊学 190）勉誠出版
- 渡辺芳郎 2004 「近世薩摩焼の窯構造」『金沢大学考古学紀要』27
- 渡辺芳郎 2005 「なぜ薩摩藩は苗代川に朝鮮習俗を残したのか？」『鹿大史学』52
- 渡辺芳郎 2014 「考古学資料から見た近世苗代川の窯業」久留島浩・須田努・趙景達編『薩摩・朝鮮  
陶工村の四百年』岩波書店